

国内実態調査報告書

テーマ : 障がい者雇用の先進的工場の見学調査
ゼミ名 : 鯉淵 賢ゼミ
調査日 : 2020年11月19日(木)～11月20日(金)
調査先 : オムロン京都太陽株式会社
授業科目名 : 演習Ⅰ・Ⅱ
参加学生数 : 4人(4年生)

調査の趣旨(目的)

障がい者雇用を行う企業の工場見学を通じて、障がい者雇用がどのように機能しているかについての実態を学ぶ。また、質疑応答を通じて、障がい者雇用が機能するための教育、就職市場、転職市場などの社会的な環境についての知見を得る。

調査結果

日本における障がい者雇用のパイオニアであり、障がい者雇用による工場運営の実践を積極的に公開しているオムロン京都太陽株式会社を訪問し、1時間半の工場見学の後、質疑応答を実施した。工場見学では、障がいを持つ従業員の方々が、主に電子製品を生産するラインにおいて、どのような工夫をして製品の生産に従事しているかを、詳細な説明と共に学ぶことができた。また、工場見学後の質疑応答においては、オムロン株式会社がどのような企業理念の下に障がい者雇用のパイオニア的存在となり、今なおその成果を日本及び世界に発信し続けているかを学ぶことができた。また、障がい者雇用促進法などの法整備により障がい者雇用が一般化する中で、障がい者雇用が機能するための教育、就職、転職市場などの社会的環境について意見を伺うことができた。